



森町立泉陽中学校だより

平成24年 1月12日発行
(学校だよりは全職員でつくります)

教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」

重点目標「学び・伸ばし・磨く」



学校とは、なんだろう

校長 中村 和久



あけましておめでとうございます。昨年中は、本校教育活動に関しまして、地域や保護者に方々には、言葉に言い尽くせないほどの御協力をいただき、誠にありがとうございました。今年も、職員一同、子どもたちのために、できる限りの努力をする所存です。

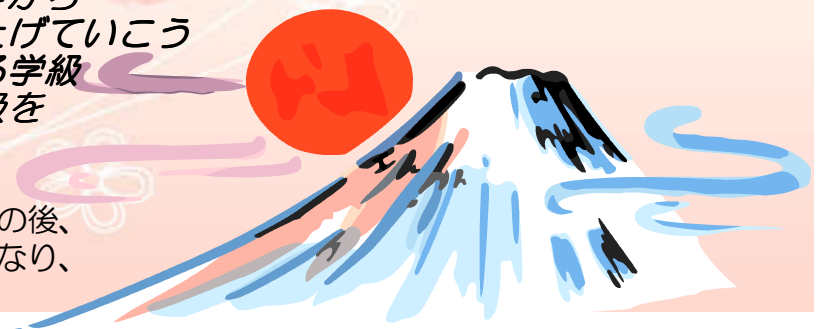
さて、平成24年を迎え、いよいよ泉陽中学校23年度完成の時期が近づいてまいりました。私は、子どもたちには、誰に強制されたものでもない、「全力でやり遂げた」「自分の力で今年を創りあげた」という充実感を感じて、3年生は卒業、上級学校へ進学し、1・2年生は、進級をしてもらいたいと願っています。そんな気持ちを込め、3学期始業式では、以下のような話をしました。

「3学期が始まりました。昨年の12月22日終業式、私が言った言葉を覚えていますか。『冬休みが終わるまでは2学期です。この14日間を有効に利用し、2学期を有終の美で終わらせてください。勉強が足りなかった』と思うのなら、『冬休みを通して、午前中と夜はすべて勉強し、1日6時間やる』でもいいでしょう。『冬休みは、3日間は徹夜する』でもいいでしょう。これは、勉強だけには限りません』こんな話をしました。どうでしたか。

今日は、皆さんに、『学校とはこんなところだ』という詩を紹介しましょう。

『わからない事を できない事を 恥と思うな
わからないから できないから 学校へ来ているのだ
わからないからといって ひっこんでいるな
自分から積極的に飛び込め
先ず自分の考えを持つことだ
先ず自分の考えでやってみることだ
自分の考えを友達や先生に聞いてもらうことだ
まちがってもよい 思い切って話してみろ
そのまちがいの中で すばらしいチエがあるものだ
そのまちがえによって みんなの考えを深めることができるものだ
よいか みんなよ 友達のまちがいを決してあざけるな
友達の心を踏みにじるような事はするな
たくさんのまちがいの中から
すばらしいチエを積み上げていこう
まちがいを平気で言える学級
そんな すばらしい学級を
創ろうではないか』

これは、三倉で生まれ育ち、その後、当時あった大久保小学校の先生となり、





無言清掃…頑張る力

平成4年に城山中学校の校長を最後に退職をされた、皆さんの先輩である西澤卓雄先生が創られた詩です。

西澤卓雄先生は、いま、磐田市に住んでいます。家の人に聞いてみると、知っている人もいないかもしれません。

私は、この詩にあるように、『わからないから聞く』『それを恥とせず』『まわりの人もそれを認め』『できる限りの力でやってみる』。これこそが、学校のあ
るべき姿だと思います。そして、その努力を続けてい
れば、必ず『頑張る力』というものがついてきます。これこそ、人が生きる上でつけるべき、『本当の力』だと思っているし、将来、何かの壁にぶつか

た時、この力があれば、相当なことでも乗り越えられると信じています。あなた方は、始業式後、提出物として、通信票を担当の先生方に出します。その教科の数字、『1』から『5』がありますが、この数字はいくつでもいいのです。その数字に努力の汗のにおい、汗の光が輝いているか、もう一度、眺めてみてください。そして、その『におい』や『輝き』が、もし少ないと感じられるなら、今日からの3学期の頑張りで、それを取り戻してください。それには、この詩にある、



『わからないから聞く』
『それを恥とせず』
『まわりの人もそれを認め』
『できる限りの力でやってみる』



ことに、少しでも多く取り組んでいくことが大切です。

1年の締めくくりの3学期を、『やり抜いた』3学期にしてください。」
(校長：中村和久)



資源回収、御協力の御願い

1月15日(日)に第2回の資源回収を予定しています。お忙しい折とは存じますが、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。雨天等の場合は翌週の22日(日)に延期の予定です。

期 日	平成24年1月15日(日)
時 間	午前8時
回 收 物	紙類(新聞紙、雑誌、段ボール等) ぼろ布
回収場所	各町内会の指定場所



雨天等の場合の中止連絡について

- ① 6:30頃までに各地区の町内会長さんへ中止の連絡をします。
- ② 町内会長さんは各町内会の連絡網を使い、全戸へ連絡をお願いします。

校内百人一首大会 伝統文化に親しむ



去る1月6日、校内百人一首大会を行いました。かつては多くの学校で行われていた行事ですが、年間授業日数が減少したのに伴い姿を消し、本校でもしばらくは行われていませんでした。しかし、「伝統的な日本文化である『百人一首』に親しむこと」と、「新学期の学級開きとして、学級の間人関係を深める一助とすること」を目的として平成21年度より復活させ、今回で復活3回目の百人一首大会となりました。来年度より完全実施される中学校の新学習指導要領には「伝統や文化に関する教育の充実」が謳われており、そのような流れの上でも大切にしていきたい行事だと考えています。



当日は寒いのでストーブを焚き、暖かい中で、百首を詠み終えることができました。後半は各先生方をお願いした景品を各班の上位者が喜んで持って帰りました。一番とれた生徒は51枚、ほとんどの生徒は30数枚でした。生徒の中には上の句を詠んだだけで札をとる生徒もいました。

なお、この模様は中日新聞7日の朝刊にも掲載されました。

(国語科主任：阿部)

3年生 進路関係の予定

1月	3月
26日(木) 私立出願	6日(火) 公立入試 学力検査
27日(金) 3年進路講座	7日(水) 公立入試 面接
31日(火) 校内面接指導	12日(月) 公立追検査
2月	15日(木) 公立合格発表 再募集試験実施校発表
8日(水) 私立入試 学力検査	19日(月) 卒業式
9日(木) 私立入試 面接	公立再募集受付(~21)
17日(金) 私立合格発表	22日(木) 公立再募集試験
20日(月) 公立出願(~22)	26日(月) 公立再募集合格発表
28日(火) 公立志願変更(~29)	

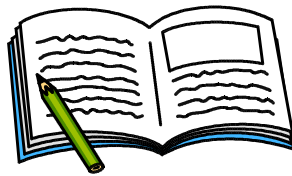
いよいよ3年生にとっては自らの進路を決定する正念場となります。温かく、でも時には厳しく見守っていただけたらと思います。
(3年担任：阿部)

新年を迎えて... 各学年経営の重点

1年生

○目標

- 1 課題は家庭で丁寧に取り組む。
- 2 提出物を忘れずに出す。



○経営の重点

入学したばかりと思っていた1年生も、3ヶ月後には2年生に進級します。今後のことを考えると、今この時期の基礎固めが大切です。この2つをしっかりと身につけるために、毎日のHOPEを丁寧に記入し、帰ってからの時間の使い方も考えたいものです。家でしっかり机に向かう時間を作り、課題を丁寧に行うこと。朝、慌てて学校でやるのは避けたいです。また、提出物を期限内に出すことも、当たり前ですが大切なことです。2年生になってその上にさらに積み重ねていけるよう、そのための準備期間としていきたいです。

(1年担任：川村恵子)

2年生

○目標

- 1 提出物を絶対出す！
- 2 HOPEを家庭で記入し、毎日欠かさず提出する。



○経営の重点

この2つの目標を達成するためには、生徒が自分自身この2つを自分で意識しなければなりません。しかしなかなか全員の定着がみられないため、3学期はできなければ毎日居残り学習を課す事としました。HOPEに日記を書く、生活時間を振り返ることは、入試での作文の練習や、今後の学習に対する気持ちづくりのためでもあります。また、多感な時期の心の整頓にもなるのです。是非ご家庭でも、課題などの見届けをお願いします。声を掛けていただいたり、食事の際に学校の様子を聞くなど、興味を示していただいただけでもかまいませんので、子どもたちの成長の手助けをお願いします。全員が自分の夢に向かってワクワクしながら3年生へ進級できるように共に支えていきましょう。

(2年担任：松井美帆子)

3年生

○目標

- 1 希望する高校に合格する。
- 2 感動する卒業式とする。



○経営の重点

この2つの目標を達成するためには、生徒が自分自身この2つを自分の思いとしなければなりません。

先週の学級活動の時間に「今年一年の抱負を漢字一字で書く」という授業を行いました。その中でほぼ全員の生徒が高校合格に関する字を選んでいました。生徒の高校合格に対する高い意欲を感じました。また、生活記録「HOPE」を見ると、時々「別れるのが寂しい」、「別れたくない」という思いが書いてありました。特に後半になるに従ってそんな意見が増えてきました。それ故に「感動的な卒業式にしたい」という気持ちも湧いてきていると思います。

(3年担任：阿部雄山)